

芦安小中学校 学校関係者評価書（後期）

令和3年1月20日（水）

学校関係者評価委員会作成

第2回芦安地区学校関係者評価委員会

実施日：令和3年1月20日（水） 午後7：00～8：00

会場：南アルプス市立芦安中学校 多目的ホール

参加者：学校関係者評価委員

委員長 倉園 哲也（芦安小中学校PTA会長，学校評議員）
副委員長 疋田 真祐（芦安小中学校PTA副会長，学校評議員）
委員 清水 准一（芦安ファンクラブ会長，学校評議員）
委員 清水 実（芦安子を守る会会長，学校評議員）
委員 有野 敏也（南アルプス市交通安全協会副会長，学校評議員）
委員 伊東 隆雅（芦安地区保護司，学校評議員）
委員 倉園 光代（主任児童委員，学校評議員）
委員 森本 浩人（芦安窓口サービスセンター長，学校評議員）
委員 森本 章雄（芦安地区学校応援団代表，学校評議員）
学校職員 <小学校> 校長 石田 史明， 教頭 石川 和樹
<中学校> 校長 丹澤 博， 教頭 今村 洋仁

1. 学校側からの提案された内容

- ① 学校経営方針，グランドデザインについて
- ② 学校評価の方法について
- ③ 評価の全体的な傾向について
- ④ 教職員自己評価（後期）の結果について
- ⑤ 保護者アンケート（後期）の結果について
- ⑥ 児童生徒アンケート（後期）の結果について
- ⑦ 今後の学校経営・運営について

2. 協議された主な内容

- ① 教職員自己評価（後期）の結果について
- ② 保護者アンケート（後期）の結果について
- ③ 児童生徒アンケート（後期）の結果について
- ④ 各項目の評価・達成状況・改善策について
- ⑤ 児童生徒の様子・小中一貫校の取組について
- ⑥ 今後の芦安地区の教育のあり方について

3. 協議されたこと（質疑応答）

<小中>

- 今年度はコロナ感染症防止対策で、小中一貫校の取組に制限が出てしまい大変だったと思いますが、その中でも多くの活動を仕組んで実施していただきありがとうございました。今後も引き続き、創意工夫をしながらできるだけ多くの活動を取り入れていってください。
→前期は安全対策を重視し、できる活動を模索することに力点が置かれていましたが、後期は新しい生活様式にも慣れ、多くの活動を仕組むことができました。運動会や白峰祭では、感染症対策に配慮しながら取り組むことができました。その他、PTA活動として授業参観や学年部会、自然体験活動として学校林の枝打ちやアマゴの放流、小中合同の校内研究会を、講師を招いて実施したりするなど多くの成果をあげることができました。今後も活動をさらに工夫しながらより充実した教育活動を計画・実施していきたいと考えています。
- 修学旅行の中止や方面の変更、運動会や学園祭の縮小化・分散化が多く为学校で行われている中、芦安小中学校は小規模校の利点を生かして実施できてよかったです。
→芦安小中学校では、各行事の狙いと感染症対策を両立しながら実施するためにはどのような手立てを取ればいいのかを考えて例年とは多少の変更を加えた上で実施に踏み切りました。今後も安全対策を最優先に考えながら実施できる活動を増やしていきたいと考えています。
- コロナ感染症対策で、中学校の北岳の全校登山が中止になったことがとても残念でした。
→まず山小屋が閉鎖されていて利用ができないということが挙げられますが、仮に営業をしていたとしても宿泊を伴う全校登山はどうしても狭い山小屋で多くの人たちと雑魚寝をしなければならず、3密を避けることができません。本校としてもとても残念で、来年度に向けて再び計画をしていきたいと考えています。
- 宿題から自主学習へと発展させるためには、どうすればいいですか。子どもの年齢に応じて宿題の量も考慮したり、小中学校で確認してみたりしてははどうでしょうか。
→家庭学習は子どもの発達段階に応じて指導をしていく必要があります。家庭学習において宿題以外の学習に取り組むために、小中学校で連携し宿題の量を学年に応じて調整したり、どんな指導をしていくかなどを情報共有したりしながら効果的な指導法を研究していきたいと思ます。
- 来年度の新入学児童と生徒の人数はどれくらいですか。
→現時点の人数は、小学校が4名、中学校が2名ですが、ここからさらに入出りがあるので、確定した人数はまだ決定していません。
- バス通学のバスの中がとても密に感じますが、何か対策は取れますか。
→前期は市教育委員会の依頼を受けて山交バスで大きめの路線バスを運行してくれましたが、一般の乗客から普通の路線バスと間違えやすいので市の路線バスに戻してほしいという要望があり、市のバスに戻ってしまいました。しかし、学校としても引き続きマスクを着用すること、会話を控えること、手指を消毒することの指導を徹底するとともに、市教育委員会にバスの中が密な状況であることを伝える要望を出したいと思ます。

- アマゴの放流や巣箱作りなどの自然体験活動を今後も継続して行ってください。
→今年も地域の方々のご協力により学校林枝打ちやアマゴの放流、巣箱作りなどの自然体験活動を実施することができました。今後も地域の特色としての自然体験活動に継続して取り組んでいきたいと思えます。ご協力、よろしくお願いいたします。

4. 学校への意見・要望

- 年間を通して新型コロナウイルス感染症予防対策で様々な活動が制限される中、授業をはじめ自然体験活動や英語活動、PTA活動等幅広い活動に取り組んでいます。今後も様々な工夫や改善をしながら、活動の幅を広げて児童・生徒が充実した学校生活を送れようにご指導よろしくお願いいたします。
- ESD教育（持続可能な社会づくりの担い手を育む教育）が芦安小中学校教育の特徴になっているが、現在は、SDGs（持続可能な開発のための目標）教育が求められています。今後は、ESD教育を通じてSDGsの分野へ進めていけるとよいと思えます。
- 小中一貫校として保護者・地域・関係団体と連携しながら情報共有をしっかりと行い、地域とともにある学校として特色ある芦安教育を実践していただきたい。

5. 分析・評価

- 前期・後期の学校評価から得られた結果を今後の改善に生かせるように、1つ1つの項目について児童・生徒の実態を踏まえた具体的な手立てを講じながら学校運営の改善に取り組むとともに、学校教育目標の実現に向けてさらに「芦安郷育」を推し進めていきたい。
- 子どもたち同士の間関係づくりに問題や不安を抱いている児童・生徒・保護者が一部いることを踏まえ、子どもたちとのコミュニケーションや日々の微妙な変化の見取りをより一層大切にしながら、きめ細かい対応をしていきたい。
- 家庭学習に関して宿題からさらに発展した「自主学習」につなげる指導や、中学校では家庭での「読書」に課題があるため、家庭での自主的な学習につなげる指導や授業づくり等での指導や家庭との連携に取り組み、「主体的な学び」を目指していきたい。
- 新しい生活様式の中で、学校行事やPTA活動・小中連携や地域との連携活動に向けて、今後、取組をさらに工夫しながら活動の幅をより一層広げていきたい。
- 芦安小中学校は、芦安地区の地域の方々、保護者の方々に支えられて教育活動を行っている。今後は、地域の伝統と文化を大切にする「芦安郷育」を継続するとともに、保護者・地域に方々の意見を生かし、新しい教育のあり方を探求し、小中学校の教職員が協働するなかで、「小中一貫教育」を推進していきたい。